

# くすのき

親和女子高等学校 進路通信 高校3年 2021年度第7号

## 《明日から夏休み》

いよいよ夏休みに入ります。8月30日の始業式までの正味40日間。己の勉強計画にしたがい、すでに計画を実行している人もいるでしょう。各科目の基礎の確認とその補強を行い、次第に、問題演習で実践力・応用力を付けていく、というのが流れでしょう。ですが注意してほしいのは、問題演習といっても、国公立大の二次試験問題をいきなり解いたり、難関私大の難問を解く必要はないということです。それはかえって自信喪失に繋がりがねません。個別の大学の問題を見ることは必要です。ですが、それよりも、誰もが解ける問題をより確実に解けるようにすることが肝要です。その意味で己が培った基礎力がどれほどになったのか、を確かめると共に、反復して定着をさせていくことに夏休み後半は力を注ぎましょう。

よく「夏を制する者が受験を制する」と言われます。1日14時間ぐらいいは机にしがみつくとつもりでやっていってほしいものです。焦って安直な方策に目移りしたり、計画をコロコロと変えたりすることなく、コツコツと積み上げていって下さい。塾へ行ったりする人もいるでしょう。ですが、あくまで、自分一人でどう自学自習するかが肝心です。以前から書いていることですが、あなたの人生です。自分の試練、と覚悟を決めてやり抜いて下さい。

## 《夏の覚悟》

先日、6月進研共通テスト模試の結果が返ってきたことと思います。自己採点と実際の得点は合致していましたか。2年次までの成績と比べて、どうなっていましたか。自分の強みと弱点は何か、見えてきましたか。2年次3学期の模試のデータと比べて、あなた方は着実に伸びてきています。その一方で、全国平均と比較してまだまだ力不足。この夏に何をすればいいのか、の方向性は模試の結果にあるはずですが、自分の力を認識して、上記に書いたように、勉学に励んで下さい。

先週末に、関関同立大の合同説明会を実施しました。来校していただき全体説明、個別相談に応じていただいた大学関係者からは、受験生及び保護者の方々が、詳細な大学研究をされおり、改めて考えさせられたこともあり、大学側としてもありがたかった、と話されていました。あなた方が、自分が学びたいと思っている大学、学部について、より深い知識を得ることで、己のモチベーションをあげることができれば、実施した甲斐はあったと思います。

さて、夏休みには、三者面談もあろうかと思えます。自分の進路に対して、どれほど明確な意思表示ができるか、が試されるとして下さい。これまでに家庭で話をしたりとしているとは思いますが、よく面談の最中に、教師の前で、親子げんかをする場合があります。自分の思いは、家庭でちゃんと話しておいて下さい。面談の際に「初めて聞いた」「前に言ったジャン！」などと言いつつ言い合えないようにして下さい。

教師も親も、あなた方の覚悟を聞いたならば、あとは応援、支援をするだけです。また、自分の口で意見を発することは、自分自身に対しても覚悟を示すことになります。そのことを覚えておいて下さい。

## 《後記》

8月30日始業式の後、入試出願説明会があります。また、後日放課後に共通テスト説明会もあります。いよいよ、入試に向けて本格的な動きが始まります。体調を整え、焦ることなく、平常心でこの夏を過ごしていって下さい。

<保護者の方々にも読んでいただきましょう>

[進路通信]などの進路指導部が発信する情報の一部を親和女子高等学校HPでも閲覧できます。